



四二六

受始〇〇三〇二〇五

了〇三〇〇 一三八一三

補人

● 人 事 局

● 人 事 部

● 共 符

機密第二五二二二二番電

發 第七五號海防總長

任務ニ兼支アリ機密長率急配員セラル度。

通一五七〇〇 天二日ケ八 (日) 舞通

海 軍 中川 (杉本)

第十信 認課

20.4.25 發

西二天 受信 0055 0135 0335 電三八〇 空先

緊急

第一海軍航空廠

海軍護衛總司令部 宇佐空 築城 松山 伊予各空基地

報 吳鎮

機密第二五二一七番電

當廠平製作部練習機廠長同乘所大分上空以後消息

十三搜索方御依頼ス。 上落難波規矩男(三二)

(東通註 本電誤字多々為修正)

通 一五七二四

一八七

吳通

志澤(海)

軍

29  
發行人 志澤  
20.4.26  
海軍

第二六〇九二番電  
東京通信隊  
上海通信隊代表後附

●東京通信隊  
●上海通信隊

第二六〇九二番電

發 第一經理部長

着信者 人事局長

送報先 吳軍需部長

三輪(シ七三三)五月二〇日出發セムトノ決定

大七

第一五九〇(一四九三〇)上陸軍(海軍)陸軍(海軍)

第十信課

四 二六 受信 一八四〇〇 開始 二〇二〇〇 了 二一三〇 電 一四一八〇 補人

● 人事 局・吳人 事 部・三南 遣 艦 隊 尸

機 密 第 二 六 〇 九 一 五 番 電



發 三〇 根 珍 謀 展

一 飛 曹 水 島 (吳 志 二 三 一 〇) 四 月 一 九 日 〇 八 三 五 八 〇 〇 於 於 戰 死  
同 日 特 殊 進 級 吳 申 (但 シ 同 人 八 十 九 年 十 一 月 一 日 上 等 飛 曹 ニ 進 級 有 資  
格 者) 一 整 水 谷 (吳 補 二 三 一 四 〇 四 月 十 九 日) 〇 八 三 〇 五 八 〇 〇 於  
於 於 戰 死 同 日 上 等 進 級 セ シ メ ラ ル。

通 一 六 一 一 九 四 一 〇 一 四 (一 五 七 一 〇 〇) 三 通 海 軍 内 田 (佐 藤)

第 十 信 課 14

第一部長

局長

第十信課

四 二六 受信一五〇一 四丁一五三五 電一四〇三六 補 人◎

親展

親展

高警

東京通信隊

東京通信隊 聯合艦隊口

暗號軍極秘

機密第二六一〇一三番電

發 參謀長

宛 軍務局長 人事局長 大海參一部長

高警機密第一八一二一二番電中軍醫長(高警軍醫長兼)赤須(夕一

〇四一)トアルヲ長村(夕六八五)ニ訂正尙黒田(夕二三八二)ヲ

高港軍醫長ニ發令方取計ハレ度。

通一六〇一四 呂二日夕六(一三五二〇〇)高雄海軍





二十六日 陸軍部 第一六三〇号 第一八〇五 第一四〇二二 陸軍部 陸軍部

二五支隊 陸軍部

陸軍部 二六一〇一五番

陸軍部

二十六日 陸軍部 第一六三〇号 第一八〇五 第一四〇二二 陸軍部 陸軍部  
大助(三七)

第一六三〇号 天三〇七六(一四九三〇号) 上海 本營(山崎) 海軍

四二六 受價一七三〇七 開了一七五〇 電一四二一三 人導

至 餘 一〇 方面 艦隊 尸

● 東京 通信 隊

● 二南 遺 艦 隊 尸

機密第二六一〇二五番電

宛 人事局長

左記發令方取計ヲ得度

水上(一七三五)神懸衰弱症ニ依ル入院中ニ付第二南遺艦隊司令部附

山崎(二五七七)横領附ニ發令ノ儘昭南ニ待機中ノ處應急兵器築城

指導上最適ニ付第十方面艦隊ニ

通一六一八九 仁三〇一七五九〇 一〇通

石川海一小艦

第電十信課

四二六

受領一七四〇

一八三〇

一四一六一

人事

● 東京、横須賀各通信隊

● 二一通信隊



機密第二六一二〇一番電

發 第百二海軍病院長

宛 人事局長・醫務局長・横須賀人事部長

三月三日發令中横須賀人事部長發給第二六一二〇一番電ヲ以テ取止メテ  
レタル看護料下士官兵二〇名本院へノ轉勤方發令水川丸ニテ赴任  
トニ御座願ヲ得度。

通一六〇八一

西一日分七

一八三六七

五九

二一

海軍

竹中(海軍野)

第電  
十信  
課課

四二六

開始一七五〇

丁一九四〇

電一四一七七

人

知照

高雄警備府

●人事局。一陸省艦隊

暗

機密第二六一二二三番電

未着

高警機密第二二二三三五番電並第二〇一八三二番電

第四一號海艇第三九號海艇出陣七五平井(夕三〇一三) 中

留中

信美

通一六一八八

呂一五七(一三五二〇) 高通

海軍 柏木(細川)

第十課

控

四二六 受信一三〇二〇 譯了二二二九 電一四四九九 補人

人事局長

暗號 機密第一五一八四五番電

發 九三一空司令

海軍省人事局長

大西片山信夫(三八四〇)少尉田中忠(三〇六一〇六八八)沖繩方面  
作戰、爲零式輸送機ニ搭乗四月十一日一八三二串良基地發進真界島  
基地ニ向ト二一三五同島上陸ニテ敵機圍撃ト交戦戦死

通一〇三九六 發信局佐伯

長尾海(河) 畢

電信課

21.4.23 發信

四 二六 受信一七六一五〇 際了一九四〇 電一四一七七 人 專

● 人事局・一機衛艦隊門

● 高雄 警 備 府

機密第二六一二二三番電



不 着

高警機密第二一二三五番電並第二〇一八三二番電關聯

第四一號掃海艇第三九號掃海艇出港セルモ平井 (夕三〇一三) 中

留中

信

通一六一八八

員一五ヶ七 (一三五二〇) 高 通

海 軍 柏木 (細川)

第十信限

二六

受信一九〇五  
開始一九〇五

譯了一九二〇 電一四一五八

人事

● 九五一 航空隊

● 人事局・佐世保人事部



機密第二六一二三二番電

發 九五一 空司令官

一 四月二十六日附技手後哲次指宿派遣隊勤務ヲ命ズ

中野原 増田

二 五月一日附宮下(本一〇三四五)指宿派遣隊勤務垣(ヨツ一九三三)

本隊勤務ヲ命ズ。

通 一六一〇七

仁

五二〇〇六 佐

通

日野原(増田)

海軍

第十信 課





四二二六 受信一七五五 譯了〇八三二 電一四三九七 人專  
二七 譯始〇七四一

六 廣 洋 隊

● 人事局。横須賀人事部。一〇通

機密第二六一三〇〇番電



宛 第一南遣艦隊首席參謀

上機長ツマ明（横國機第二四三號）第一種傷（熱帶三日マラリア）  
依リ南方第一一陸軍病院ニ委託入室中ノ所昭和二十年四月二十五日  
二二四五危篤絶望同日附其ノ上級ニ進級ナリトス。

通一六〇九九

天一ヨヲ十一（一五七一〇四）三二番

清水（小）軍 幡

第十信課



四二六 受信一七五〇八 開始一七五〇八 了 一七五五 電一四一二九 人事

至急

● 一 航空 艦 隊 尸

● 東京 通信 隊

● 無線 通信 隊

機密

機密第二六一三一四番電

發 參謀長

宛 人事局長

通報 海軍 人事部長 海軍 海兵團長

中央部 (一式陸機機務整備員) 大塚上等整備兵曹 (舞志整三一丸) 脚

部 疾患ノ爲海軍海兵團ニ送籍シタキ由最近ノ輸送機便ニテ内地ニ送還

入隊セシム作戰輸送積費セルニ付代人至急補充方取計ヲ得度。

通一六〇四八

呂一Dケ七(一〇一七〇KG)

高雄 海軍 地

尾崎 (細川) 軍

第卅十信課

海軍省 航空部 第三課

航空部 第三課

三課 第三

第十課

四 二六

電一四一二六

一令・航本

緊急

共

符

- 海上護衛總部隊口
- 佐伯空
- 大海參一部・聯合艦隊口

機密 第二六一六〇八番電

機密第二六一六〇八番電

海軍總司令部第五八號

一 第一護衛艦隊司令長官ハ九〇一空搭乗員中東海搭乗適任者約十組  
 ヲ佐伯空ニ派遣佐伯空司令ノ指揮ヲ承ケ東海ノ飛行訓練ニ從事セ  
 シムベシ

二 吳鎮守府司令長官ハ佐伯空司令ヲシテ左ニ依リ前號搭乗員ノ東海  
 ヲ以テスル對潛飛行訓練ヲ實施セシムベシ

(イ) 目的

通 三三三 一一一

日 一 四 七

海軍 (久保田) 1

老練搭乗員ヲ急遽訓練シ東海ヲ緊急戦力化スニアリ

(何) 訓練期間約三週間

(ハ) 訓練後ノ處理佐伯空供給中ノ東海ト共ニ九〇一空ニ復歸供給替ノ上對潛作戦ニ従事ス。

第十信課

海軍

控

四二六  
緊急

電一四一二六一令。航本。人事

20.4.27  
股務

艦 海上護衛總部隊口、佐伯空  
艦 大海參一部・聯合艦隊口  
符

暗號  
軍機秘

機密第二六一六〇八番電

海護總軍令第五八號

一、第一護衛艦隊司令長官ハ九〇一空搭乗員中東海搭乗適任者約十組ヲ佐伯空ニ派遣佐伯空司令ノ指揮ヲ承ケ東海ノ飛行訓練ニ從事セシムルシ  
二、吳鎮守府司令長官ハ佐伯空司令ヲシテ左ニ依リ前號搭乗員ノ東海ヲ以テスル對潛飛行訓練ヲ實施セシムベシ

(イ)目的

老練搭乗員ヲ急速練成シ東海ヲ緊急戦力化スニアリ

通三三一  
三三一  
一  
二  
呂一B  
ケ七

2451

247

(ロ) 訓練期間約二週間

(ハ) 練成後ノ處理佐伯空供給中ノ東海ト共ニ九〇一空ニ復歸供給替ノ上  
對潛作戰ニ從事ス。

真 二六

開始 三三〇三

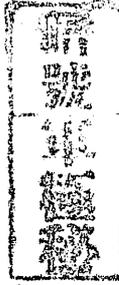
了 〇三〇〇 一四三〇五

補入 〇



東京通信隊

總務處所用共通符號



機密 二六一九三〇番

陸 高野參謀長

砲 軍務局長 人事局長 大塚參一部

通報 海軍總參謀長

海軍機密第一八一三一二番 夏中幸田(三九四四) 入補任事務上

事務上事務不離ノ關係ヲルニ付高野參謀長暨海軍總參謀長

ノ事トシ取計ハシテ

第一六一四六 四二日(四七〇五七) 高野

海軍

第拾一編



四 三六

受領三三〇〇

三七

丁〇九三〇

一四四七〇九

人

● 吳 鎮

● 人 事 局

● 奉 本 統 整 基 地

授領第二六一六一七一七番地 二分ノ一、二

第一一二三番地

特選第三高津丸四月二十五日一〇二〇阿波大島二〇〇〇慶八新晴  
 現中政務小次郎左衛門ノ者職死ノ前二名ノ特任用進級具申  
 海軍兵曹長山本介五郎(三五六四)ノ五八六) 海軍一等兵曹近  
 藤親雄(後水第三三八一二) 海軍上等水兵立坂豊(志水第四八  
 六一〇) 海軍一等正作兵大久保達治(國水六八〇八) 海軍一  
 等海軍兵曹田安治(後藤第三五一四)

通一六六一七八

且一〇七七)

反賣

松田(小澤)軍

第拾  
 十信  
 課課  
 20.4.28  
 殿符

第一課長 局員



配員別

電信課  
第十課

47

四 二七 受信〇〇四三五〇 丁〇六〇〇 電一四三三七

● 一兩遠艦隊口

● 東 通・佐 通  
● 氷 川 丸



機密第二六一三四五番電

人事局長 醫務局長 佐人事部長

一〇一病機密第一號ノ一四ニ依リ上申中ノ各部ノ人員中左ノ人員未

川丸便ニテ是非配員セラル度

軍醫中少佐二(眼科一耳鼻科一) 軍醫科醫尉官九 藥劑科尉官二 齒科

醫科士官一 衛生中小尉三 衛生兵曹長二 衛生兵曹一七 衛生兵八五

通一六三一七 海一〇六六(六二三五四)十通

山下(杉本)

海軍



四二七

受領開始 〇〇四二三五〇

丁〇六〇〇 第一四三三七

東通・佐通

米川丸

一南達殿取付



機密第二六一三四五番電

人事局長 醫務局長 佐人事部長

一〇一病機密第一號ノ一四ニ依リ上申中ノ各部ノ人員中左ノ人員米川丸便ニテ是非配員セラレ度

軍醫中少佐二(眼科一耳鼻科一) 軍醫科中尉官九 藥劑科尉官二 齒科醫科士官一 衛生中小尉三 衛生兵曹長二 衛生兵曹一七 衛生兵八五。

通一六三一七

壽一〇ヶ六(六二三五四)十通

海軍

山下(杉本)

第十信課

第一部長官局員

福地

王勇

田中

航空隊員  
配員別

第十信課

46

四二七

受領  
開始〇〇五〇〇九

丁〇六〇一

一四三六〇

一人  
副司令  
官軍  
令長

五急

東京

通

共

符

指

機密第二六一九二八番電

二分ノ一三

發 八支島警備隊司令

宛 軍令部一部鹿野部員

關東軍及文島派遣隊ノ機密左ノ通

（連中 警備員約三〇名ノ關東軍本部ニ復歸ノ決定）

（）進士官以上警備科六連備科四（内一隊警備長）警備科三主計科三

陸取科四工作科一運用科一要務三（内一氣象士）

（）兵員整備員五五兵務整備員六〇電信員三五電報員三内務科（補換

通 一六三九九

東三三九八

木造基雄

小藤林（吉井）

海

軍

自働車運轉員(合計) 六〇名 運轉料三二圓 警備料一〇圓 燃料料三六圓  
雇員總人數〇以上ノ中 運轉用可能ナル身力二五〇(但シ下士會也)

電  
十  
倍  
課

海

備



急

四二七

受信開始 〇〇五〇〇九

譯了 〇六〇一電 一四三六〇

官房・令副・四命

共

符

總東

通



機密第二六一九二八番電 二分ノ一二

發 八丈島警備隊司令

宛 軍令部一部鹿野部員

關東堡八丈島派遣隊ノ現狀佐ノ通

(追テ整備員約三〇名ハ關東空本部ニ復歸ノ豫定)

(イ) 准士官以上整備科六通信科四 (内一掌暗號長) 醫務科三主計科三陸戰

科四工作科一運用科一要務三 (内一氣象士)

(ロ) 兵員整備員五兵器整備員六〇電信員三五電話員二務内務科 (補機自

動車運轉員ヲ含ム) 六〇修補科三二醫務科一〇主計科三六文官雇員備

八五〇以上ノ中陸轉用可能ナル兵力二五〇 (但シ下士官六)

通 一六二九九二

天二日ケ八 (日) 木空基地

20.4.28 度精





國 二七 受領 〇〇一三五 〇〇 〇〇 〇〇 〇九一〇 電一四四二五 人 專

● 舞 子

● 人 專 局

● 三連支離隊尸

機密第二六三一四〇番電



大筋 土井 (清空) (四二六九三) 着任

● 東通註 本電誤字ノ爲遲延ス

通一六二九七 天三〇々八 (四七〇五知) 高雄

海 軍 小林 (金森)

第拾課

陸軍省 局長 (赤)

陸軍省 第十課

4.28 事務

國 二七 受領一三三〇 丁一三二五 一四五四九 人事

● 東 通 ● 五 ● 海 防 艦

機密第二七〇八三六番電

發 第五〇陸海防艦長

宛 人事局長

大尉須藤元己

四月十日附文書二、依願七九本艦乗組(一)一五八一、任交代  
方至急御取計相成座

一東通駐 人名照作

16/4 附 丁録附録合

通一六四九三 天二一八八

海 軍 為シヲ木(西)



四二七  
至急

受信一三三〇四

第一三二五 電一四五四九 人事

● 東

通

● 五

○

海

防

艦

機密第三七〇八三六番電

發 第五〇號海防艦長

宛 人事局長

四月十日附文書ニ依願セル本艦乗組(即一五八)任交代  
方至急御取計相成度  
大井 須藤克己

(東通駐 人名殿作)

通一六四九二

天二五八

日

毎通

海

カシヲ本一

録  
十  
録  
録

28

録

人



2  
電信  
十信  
録  
20.4.28  
原稿

四二七 受信一六三三〇 譯了一七五〇 電一四六一六 答人事

至 急

共 符

人事局・吳 通

機密第二七〇九二二番電

浦戸航空隊司令 宛 吳人事部長

一等兵曹大野時春（吳志水第三二三八二號）主計兵長花崎等美（吳志  
主第三七二九號）一等整備兵栗飯原利一郎（吳國整第一〇四一九號）  
二十六日〇九〇〇須崎港ヨリ魚雷艇二便乗歸隊途次土佐沖海面ニ  
於テ敵日一二九ト交戦沈没行方不明トナレタリ

通一六五七五 呂一日夕七（日）吳通 末先（上覽）





四二七  
至急

受信一五三五  
譯始一六三七

譯了一七五〇

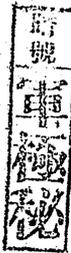
電一四六五八

一人事・航本  
令

一〇一航空戰隊

十三航空艦隊

海軍總隊△・三三一空・三八一空  
十海上機動特攻部隊▽・二八航戰▽



機密第二七一〇一七番電

G F 電令作甲第五一一號關聯

輸送機ニ依ル輸送ヲ要スベキ戰闘機搭乗員整備員計約一五〇名ナリ  
輸送機(艇)着像定知サレ度。

東通註「甲第五一一號」ハ「甲第五一號」トモ解シ得。

通一六五七七 呂一〇七七(一七五九〇KC)十通





控

四二七 受信一三二二 譯始一五五〇 譯了一六二六 電一四五八三 補空

東 通 大分航空基地

共 符

機密第二七一—二二—番電

發 五 A F 參謀長

宛 1? 1? 1?

通報 西海空司令 九州空司令

配 變更ヲ行ヒ太刀洗ニ派遣中ノ臨時魚雷調整班ハ原隊ニ復歸ノコト  
ニ又實驗セシ空電二四本(二八魚調ヨリ送付セシ分)及關係諸兵器ハ  
西海空ニ供用機ノコトニ取計ハレ度。

通 一六五一五 呂一Bヶ七(七八七五KG) 一KG B 放





四二七

受信一四三九  
譯始一五〇〇

譯了一五四〇 電一四五六五 空 厄

急

總人 事 局

大阪警備府

暗號 秘

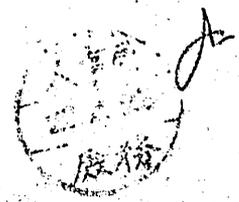
機密第二七一四二番電

發 第三三二航空隊司令

宛 海軍大臣

玉木 (ヨヒ四五二四) 四月二十六日一四一八飛行中遭難危篤絕望特殊  
進級具申。

通一六五四一 呂一Dケ七 ( B ) 阪響



第一課長

局員

赤坂

配員別

四二七 受信一八五〇 譯了〇二四〇 電一四八二二  
二八 譯始〇一五六

軍務・人事  
一令・總政  
官房



第三時攻戰隊

東京通信隊

佐世保通信隊・吳通信隊

機密第二七一二二六番電三分ノ二

海軍 軍務局長 人事局長

海軍 軍令部第一部長 艦政本部總務部長 聯合艦隊參謀長 第六

參謀長 佐世保領守府參謀長 佐世保工廠長 佐世保潛水艦

地隊司令

鹿島島灣海灣ニ小型潛水艦用基地ヲ設定セラレシ處左ニ依ル人員兵器

ヲ配員供給ノコトニ取計ヲ得度

通一六六六二 呂一B々七( B ) 佐洞 高畑 隆雄 (小林) (1)

2470

一潜水艦長経験特務士官一名下士官兵一〇名（佐世保潜水艦基地隊附）

又、第三特攻戦隊司令部附）

二第二空氣壓縮ポンプ一基（垂水航空隊ニ設置）

三現佐世保工廠従業員中佐山田（一三六一）ヲ第三特攻戦隊司令部附ニ

任命ス。

兼

人新

控

二二七 受信一八五〇 譯了〇二四〇 電一四八二三  
二二八 開始〇一五六

軍務・人事  
司令・艦政  
首房

人事局  
20.4.28  
機務

第三時攻戰隊

東京通信隊

佐世保通信隊・吳通信隊

機密第一七二二二二六番電二分ノ一二

海軍務局長 人事局長

海軍司令部第一部長 艦政本部總務部長 聯合艦隊參謀長

參謀長 佐世保鎮守府參謀長 佐世保工廠長 佐世保潛水艦室

地隊司令

鹿島灣海灣に小型潜水艦用基地ヲ設定セラレシ處左ニ依ル人員兵器

ヲ配員供給ノコトニ取計ヲ得度

通一六六六六二 呂一〇ケ七 (日) 佐通 高畑・勝 (小林) (1)

一、潜水艦長経験特務士官一名下士官兵一〇名（佐世保潜水艦基地隊附）  
 又、第三特攻戦隊司令部附）  
 二、第二空気壓縮ポンプ一基（垂水航空隊ニ設置）  
 三、現佐世保工廠部員中佐山田（一三六一）ヲ第三特攻戦隊司令部附ニ  
 任命ス。